

## 第17次いわき市水道事業経営審議会（第2回）議事録

- 1 日時 令和2年12月18日（金） 午後3時00分～午後4時50分
- 2 場所 いわき市文化センター（中央公民館）中会議室
- 3 出席者
  - (1) 委員 （出席：14名）

浅井俊吾、石山伯夫、小野卓也、上遠野恭子、河合伸、佐久間幸子、菅原啓史、杉岡弘之、鈴木俊彦、高橋孝光、長谷山信一、原田正光、古川広子、吉田伸郎

（欠席：1名）

斎藤七重

※ 50音順・敬称略
  - (2) 事務局 上遠野管理者、加藤局長、則政次長、大津次長、黒羽人材育成・防災力向上担当課長、佐藤経営戦略課長、阿部営業課長、横田配水課長、緑川工務課長、小山浄水課長、鈴木南部工事事務所長
- 経営戦略課  
盛課長補佐、丹野企画係長、古川財務係長  
企画係〔稲村、吉田〕
- 4 会議形式 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 会議次第
  - (1) 開会
  - (2) 会長あいさつ
  - (3) 議事
    - ア 第1回審議会の議事録について
    - イ いわき市水道事業 事業評価（令和元年度事業）について
    - ウ 令和元年度いわき市水道事業 決算の概要・財政計画との比較について
    - エ 第17次いわき市水道事業経営審議会開催予定について
  - (4) その他
  - (5) 閉会
- 7 審議事項
  - (1) 前回の議事録について  
前回（第1回）の議事録が了承された。
  - (2) いわき市水道事業 事業評価（令和元年度事業）について  
資料2 いわき市水道事業 事業評価（令和元年度事業）に基づき、説明を行った。

#### <審議要旨>

- 委員から、「事業運営の目標の達成状況評価において、指標No.6及びNo.7の「基幹浄水場連絡管整備事業」の進捗率の評価がc評価となっているが、今後の事業に影響は出てくるのか。」との質問があり、事務局から、「指標No.6については、令和元年東日本台風の影響により令和元年度に完了する予定であった平・鹿島水系幹線事業が繰越工事になったことからc評価となったが、令和2年6月には全ての工事が完了している。次に指標No.7については、計画策定後に鹿島・常磐水系幹線事業の完了時期を令和8年度から令和10年度に計画変更したことからc評価となったが、変更後の計画に対しては順調に進捗している。」との回答があった。
- 委員から、「「事業No.48 財政支援等の要望と新たな財源確保の推進」の「預金運用による収益の確保」の事業について、預金の運用方針を教えてほしい。」との質問があり、事務局から、「リスクが低い定期預金や譲渡性預金などにより運用を行っているところであるが、金利が低いこともあり、安全性を考慮しながらほかの運用方法について検討しているところである。」との回答があった。
- 委員から、「「事業No.30 水道事業継続計画（BCP）の推進」の「新型インフルエンザ等に係るいわき市水道事業継続計画の管理」の事業について、BCPは新型インフルエンザに関わるものだけでなく、現在だと新型コロナウイルスが脅威になってきていることから、どのような対策を進めているのか、また、新型インフルエンザに係るもの以外にBCPは策定しているのか教えてほしい。」との質問があり、事務局から、「新型コロナウイルスの対策については、新型インフルエンザ等に係るBCPに基づき、業務の優先度を定めながら実施しているところである。また、災害対策についても既存の災害対応マニュアルに加え、BCPの策定を進めているところであり、その管理については、次期の新たな経営計画の中で整理することとして検討しているところである。今後は更に内容の充実や様々な事象に合ったBCPの策定を検討していく。」との回答があった。
- 委員から、「事業運営の目標の達成状況評価における「漏水率」の目標が低いため、漏水率を更に改善させる努力をしていくことが重要である。」との意見があり、事務局から、「平成29年度から老朽管更新事業を最重要事業として実施しており、漏水件数は減少していることから、老朽管更新事業の進捗状況を踏まえながら今後の目標を設定したい。」との回答があった。

#### [まとめ]

- 会長から、令和元年度の事業評価について、次のとおり意見の総括案が示され、審議会として確認がなされた。
  - ・ 全体的な集約として、新経営プランで謳っている「安全」「強靱」「持続」の3つの方向性ごとに掲げた、11の大きな目標については、令和元年東日本台風の影響などによりB評価が1つあったものの、それ以外は全てA評価ということで、目標はおおむね達成されたということを確認した。

- ・ 事業レベルでは、令和元年東日本台風の影響により、「基幹浄水場連絡管整備事業」や「浄水場非常用発電設備整備事業」などで遅れが生じているほか、前回から引き続き「浄水施設耐震化事業」や「配水施設耐震化事業」などでも遅れが生じている状況にあることから、着実に事業を進められるよう進行管理を行っていく必要がある。また、新・経営プランで最重要事業として位置付けた「老朽管更新事業」においては、「管路の更新率」や「漏水率」で目標を上回っており、順調に進捗していることを確認したものの、「有収率」などでは目標を下回る結果となっていることから、目標達成に向け、効果的に事業を進めていく必要がある。

なお、漏水率については、更に改善させる努力が必要なことから、老朽管更新事業進捗状況を踏まえながら、今後の目標を設定する必要がある。

- ・ 台風など近年頻発する自然災害への対策についても、将来的な施設整備・更新の基本となる水道施設総合整備計画の策定に併せて検討を行っていることを確認した。
- ・ 「業務指標評価」においては、類似団体との比較から、これまでと同様に収益性や財務の状況など経営面では、概ね良好な状態であるが、施設面では、「管路の耐震管率」などで改善が見られるものの全体的に類似団体より低い状況にあることを確認した。

## (2) 令和元年度いわき市水道事業 決算の概要・財政計画との比較について

**資料3** 令和元年度いわき市水道事業 決算の概要・財政計画との比較に基づき、説明を行った。

### <審議要旨>

- 委員から、「収益的収支の前年度比較において、人件費が増加しているが、増加要因はなにか。」との質問があり、後日、内訳等について資料を用意したうえで回答することとなった。
- 委員から、「管路更新率を向上させながら企業債を計画以上に減額させていることは評価しても良いのではないのか。」と意見があり、事務局から、「企業債残高はできる限り減額するよう努力しており、今後も長期的な収支見通しを踏まえながら料金水準のシミュレーションを実施し、企業債残高の減額について検討していきたいと考えている。今回、企業債残高を計画よりも減額出来たことについて評価をいただけるのであればお願いしたい。」との回答があった。

### [まとめ]

- 会長から、今後の財政収支見通しについて、次のとおり意見の総括案が示され、審議会として確認がなされた。
  - ・ 令和元年度決算において東日本台風などによる想定外の費用の増加があったものの、令和3年度末の資金残高は財政計画と比較して12億円の増となる見込みであり、財政計画に基づいた財政運用がなされていること、また、企業努力により管路更新率を向上させながら企業債残高を計画以上に減らしていることを確認した。

(3) 第17次いわき市水道事業経営審議会開催予定について

資料4 第17次いわき市水道事業経営審議会開催予定(案)に基づき、説明を行った。

- 第17次いわき市水道事業経営審議会開催予定(案)が了承された。

(4) その他

- 管理者から、次のとおり意見があった。
  - ・ 基幹浄水場連絡管整備事業については、令和元年度において繰越工事が発生しているものの着実に進捗している。
  - ・ 漏水率については、令和元年度上半期において改善しており次回以降の審議会での情報の提供をしたい。
  - ・ 施設利用率については、令和元年度において56%となっており、施設の半分程度しか使用していない状況のため、施設の削減など効率化の検討をしているところだが、平常時の需要に見合った施設能力にした場合、災害時のバックアップが困難になってしまうことから、災害時のリスクや安全性を踏まえた施設整備が必要である。
  - ・ 電力の自由化に伴い電力調達の入札を行うことで電力費の削減に取り組んでいきたい。
- 次回の審議会(視察)について  
日時は令和3年2月4日(木)の午後を予定し、具体的な時間については後日通知することとした。
  - ※ 当該視察については、市内で新型コロナウイルスの感染が増加していることや市において第2期感染防止集中対策一斉行動を展開していることなどを踏まえ、感染拡大の防止のため、開催を延期することとした。(令和2年1月15日付通知)

## 8 閉会